

【5月】

市民共同発電の点検とメンテナンス

兵庫県の「H28地域主導型再生可能エネルギー導入促進事業」に採択されている太陽光発電所の運転開始から約1年。今回は、太陽光発電の点検とメンテナンス作業になります。

また、今回は市民共同発電として稼働している当団体の発電所をどなたでもまるでそこにいるかのようにVR体験する為の撮影も行われました。環境教材として発電所施設内を携帯でもPCでも他端末でも見学が可能になっています。

再生可能エネルギーをもっと身近に感じて頂く為の新たな取り組みとなります。



【5月】

農山漁村活性化事業

農山漁村活性化応援事業の「食と農と環境の輪を鷺林寺地区農家と都市部一般市民と共に繋ぐ連携活動」として鷺林寺農地で実施している新たな農作体験として「栽培から収穫・食育」をテーマに新たな取り組み「じゃがいも栽培&収穫体験」の第2回目農作業が行われました。

今回栽培している、じゃがいも3種（馬鈴薯・メークイン）の根かきと除草&追肥作業を行いました。未耕作地となっていた農地を新たに農家さんから賃借して、耕作畑へと再起させる同時促進プロジェクトは、3回目を終了して、いよいよ農地っぽく蘇ってきました。完全無農薬による安心・安全の野菜を参加者全員で収穫まで取り組んで行っています。



【6月】

体験農業たまねぎ収穫祭

運営している西宮体験農業クラブにて、新玉ねぎの収穫祭を行いました。今回は、黄金玉ねぎ品種を収穫したその場で、スライス玉ねぎにして参加者の皆さんで試食。

玉ねぎは、辛みのある野菜ではありますが、切り方などを工夫して試食しました。

今回の栽培では、苗の間隔を広くとった為、1つ1つの玉は大玉に育ちました。

小さいお子様が手荷物とソフトボールのように見えるくらいでしたよ(\*'▽')



## 【6月】

## 農山漁村活性化事業

農山漁村活性化応援事業の「食と農と環境の輪」を鷲林寺地区農家と都市部一般市民と共に繋ぐ連携活動」として鷲林寺農地で実施している新たな農作体験として「栽培から収穫・食育」をテーマに新たな取り組み「じゃがいも栽培&収穫体験」の第3回目農作業・収穫祭が行われました。

自分たちで、種芋から収穫までを一貫して体験するこの事業では、収穫後に無農薬で育てたじゃがいもを蒸かしてじゃがバターなどで実食。野菜の自然そのものの味を堪能できました。



## 【8月】

## 風力発電設備の視察

再生可能エネルギーの現地視察という事で、今年は淡路島の風力発電所を施設見学に行きました。

市民共同発電では、小型風力として20Kwの設備も一昨年から流通されていて、FITの買取価格も55円とプレミアム価格になっています。水力発電やバイオマス・地熱などに比べると太陽光発電について安定性が見込まれている設備です。

太陽光発電が設置しにくい山間部や海辺などの設置が可能であり、これらの地域自治体の新たな柱となりえるのか。

現状の運転状況を視察してきました。



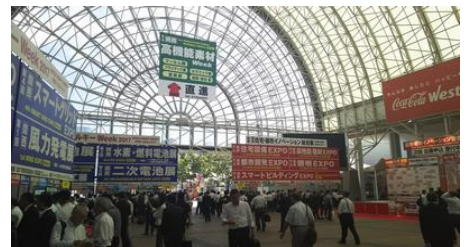
## 【9月】

## 再生可能エネルギー市場の視察

スマートエネルギーWeek2018大阪にて関西バイオマス発電展・PVEXPO等の基調講演を傍聴しました。高齢化する農地地域で、農水路の活用など、最新の動向や市場を確認し市民の方へ啓発事業にて情報を発信していきます。

水力発電においては、これまで基本的に落差が必要な条件があったのですが、平たんな農水路を活用できる機器も流通されてきています。これなら、地域の水道局などでも応用が利きそうです。

ただ、小型の水力発電は、FIT条件やイニシャルコストの面でもまだ採算ベースが難しい分野です。発電したエネルギーを農業施設などに活かす仕組みが構築されればもっと普及も加速するでしょう。今後に期待です。



【11月】

体験農業さつまいも収穫祭

運営している西宮体験農業倶楽部にて、さつまいも(鳴門金時)の収穫祭を行いました。今回は西宮市内にて保育事業を営んでいるかたつむりランド様、さくらっこ園様のご要望に応じて秋の遠足イベントに、さつまいもの収穫体験の企画を盛り込みました。園児や園児の保護者様と一緒に収穫の体験から土いじりまで、無農薬農地だからこそできる安心の野外行事となりました。今年は残念ながらサツマイモは小ぶりでしたが、ミミズや昆虫など虫が平気な子もいれば、ダメな子もいて様々。市内で遊べる自然農地となったのでしょうか？  
 今後は、他の団体様ともコラボレーションをしていき、地域のクローズアップに貢献できればと思います。



【12月】

市民共同発電所

兵庫県の「H28地域主導型再生可能エネルギー導入促進事業」に採択されている太陽光発電所の運転開始から約1年半が経過し、積雪シーズン前に、パワーコンディショナの点検と太陽光発電パネルの赤外線サーモグラフィのチェックを行いました。  
 サーマグラフィ点検では、目視では確認できないバイパス機能の確認やホットスポット影響有無など、システムの内部に異常がないかを確認する大切な項目になります。  
 20年間運転するシステムになりますので、異常個所を早期に発見する事で損失を最小限になるよう努めています。



【12月】

農山漁村活性化事業

農山漁村活性化応援事業の「食と農と環境の輪」を鷲林寺地区農家と都市部一般市民と共に繋ぐ連携活動」として鷲林寺農地で農作体験として「だいこん収穫体験」が行われました。  
 地元農家さんと協働して育てた大根は、約250本。今年は9月以降温暖だったため、比較的育ちもよく太った大根が収穫できました。また、収穫した大根の一部はなるっこ食堂さんへ寄付させて頂きました。今年は、たくあんにするそうです。こども食堂を利用するこども達に美味しく食べてもらえると嬉しいですね。収穫祭に参加したご家族は、大根のスティックサラダを食べてもらいました。産地地消、究極の新鮮野菜を堪能してもらいました。



【12月】

再生エネ啓発事業-未来のでんきプロジェクト企画参与

再生可能エネルギーの利用、省エネルギー、蓄エネルギーを促進する事業を行い、持続可能なまちづくりと地域活性化に寄与することを目的としている当団体の活動として、一般企業との協同によるプロジェクトとして参与した「未来のでんきプロジェクト」が本格始動しました。「未来のでんきプロジェクト」とは、遊休資産となっている自己所有建物屋根に第三者所有型で太陽光発電システムを無料で導入し、利用者と所有者の双方に電力メリットを構築する住宅用自家消費モデル推進プロジェクトです。数年先に到来が良そうされるP2P(ピア・ツー・ピア/プロシューマーと需要家間)の電力直接取引市場におけるプラットフォームの構築を目的としています。



【3月】

CO2削減活動

リサイクルの促進、CO2の削減を目的としたエコキャップ運動をスタートして約2年。累積した回収キャップをエコキャップ推進協会さんへお送りしました。当団体の環境保護活動とNPO法人エコキャップ推進協会さんが4つ目の目的とされる障がい者・高齢者雇用促進の架け橋活動になるよう今後も継続して活動していきます。



【中止事業/体験農業ミニトマト収穫祭】

農山漁村活性化事業

運営している西宮体験農業倶楽部にて予定していた「ミニトマト収穫祭が」西日本豪雨および近郊台風の自然影響により中止となりました。地元農家さんと協働して育てたミニトマトの苗は約50本。収穫祭としての物量は基準に達しませんでした。収穫したミニトマトは、いつも協賛支援頂いている企業様や、支援者の方に少しずつではありますが、感謝の意を込めてお配りさせていただきました。地産地消、究極の新鮮野菜を堪能してもらいました。

